

※答えは全て解答用紙に記入しなさい。

受験番号

()

【一】 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。
確か 英語を習い始めて間もない頃だ。

或(あ)る夏の宵^①。父と一緒に寺の境内^②を歩いてゆくと 青い夕靄(もや)の奥から浮き出るように白い女がこちらへやってくる。物憂げに ゆっくりと。

女は身重らしかった。父に気兼ねをしながらも僕は女の腹から眼を離さなかった。頭を下にした胎児の柔軟なうごめきを 腹のあたりに連想しそれがやがて 世に生まれ出ることの不思議に打たれていた。

女はゆき過ぎた。

少年の思いは飛躍しやすい。その時 僕は〈生まれる〉ということが まさしく〈受身〉である訳を ふと諒解(りようかい)しようかいした。僕は興奮して父に話しかけた。

——やっぱり I was born なんだね—— 父は怪訝(けげん)そうに僕の顔をのぞきこんだ。僕は繰り返した。

——I was born や。受身形だよ。正しく言うと人間は生まれさせられるんだ。自分の意志ではないんだね——

その時 どんな驚きで 父は息子の言葉を聞いたか。僕の表情が単に無邪気として父の眼にうつり得たか。それを察するには 僕はまだ余りに幼なかつた。僕にとってこの事は文法上の単純な発見に過ぎなかつたのだから。

父は無言で暫(しばらく)歩いた後 思いがけない話をした。——蛭螿(かげろう)という虫はね。生まれてから二、三日で死ぬんだそうだが それなら一体 何の為(ため)に世の中へ出てくるのかと そんな事がひどく気になった頃があつてね——

僕は父を見た。父は続けた。

——友人にその話をしたら 或る日 これが蛭螿の雌だといって拡大鏡で見せてくれた。説明によると 口は全く退化して食物を摂(と)るに適しない。胃の腑(ふ)を開いても 入っているのは空気ばかり。見ると その通りなんだ。ところが 卵だけは腹の中にぎっしり充満(みみ)っていて ほっそりした胸の方にまで及んでいる。それはまるで 目まぐるしく繰り返される生き死にの悲しみが 咽喉(のど)もとまで こみあげているように見えるのだ。淋(さび)しい 光(ひかり)りの粒々(つぶつぶ)だったね。私が友人の方を振り向いて〈卵〉というと 彼も肯(う)いて答えた。〈せつなげだね〉。そんなことがあつてから間もなくのことだったんだよ、お母さんがお前を生み落としてすぐに死なれたのは——。

父の話のそれからあとは もう覚えていない。ただひとつ痛みのように切なく 僕の脳裡(のうり)に灼(や)きついたものがあつた。

——ほっそりした母の 胸の方まで 息苦しくふさいでいた白い僕の肉体——。

吉野 弘

問 1 傍線部①②③④⑤の漢字の読みを平仮名で記しなさい。

問 2 この詩の形式を、漢字三字で答えよ。

問 3 傍線部(A)「白い女がこちらへやってくる。物憂げに ゆっくりと」で用いられている表現技法を答えなさい。

問 4 傍線部(B)「父に気兼ねをしながらも」とあるが、なぜ「気兼ね」をしたのか。その理由として適当なものを、次の中から一つ選びなさい。

- ア 女性の腹に興味を持っていることを父に知られるのが恥ずかしかったから。
- イ 威厳のある存在として日頃から怖がっていた父が怒っているようだったから。
- ウ 「僕」が母を死なせることになってしまったことに申し訳なきを感じたから。
- エ 妊婦の腹の中に蜉蝣の卵を想像したことを父には知られたくなかったから。
- オ 母が死んだ今、別の女性に興味を持つことは父を傷つけることだと思ったから。

問 5 傍線部(C)「柔軟」と同じ漢字の構成をしている熟語の例を考えて二組挙げなさい。

問 6 傍線部(D)「それ」とは何を指しているか。抜き出しなさい。

問 7 傍線部(E)「少年の思いは飛躍しやすい。」とあるが、ここで「少年」という語を使っているのはなぜか。次の中から適当なものを一つ選びなさい。

- ア 幼い頃の自分の過ちを認めたくはなかったため。
- イ 少年時代の自分のことに一般性を持たせるため。
- ウ 自分とは直接に関係のないことを示すため。
- エ 自分のことを少年の思いに重ねたかったため。

問 8 傍線部(F)「父は怪訝そうに僕の顔をのぞきこんだ。」時の父の気持ちの説明として適当なものを次の中から一つ選びなさい。

- ア 息子はまだ英語が分かっていないのかと心配になった。
- イ 息子の英語力が中学生のレベルを超えていて感心した。
- ウ 息子の考えが自分の考えとみごとに一致していて驚いた。
- エ 息子がなぜ突然英語の話をし始めたのか分からなかった。

問9 「父と一緒に寺の境内を歩いてゆくと」とあるが、「寺の境内」という設定には
どのような表現効果があるか、説明せよ。

問10 「父」はどのような気持ちで「蜉蝣」の話をしたと考えられるか、六十字以上
百字以内で答えよ。

【二】次の文を読み、後の問いに答えよ。

俳句における写実を強調した正岡子規だが、くすりとさせられる作品も少なくない。

そんな句ばかりをコラムニストの天野祐吉さんが選んだのが『笑う子規』である。なか
にはパロディーすらある。△めでたさも一茶位や雑煮餅▽

ことしの正月は、一茶の△めでたさも中位なりおらが春▽のもじりでお茶をにごすかー。
子規の心のなかまで想像して、天野さんが付け加えている。正月の句には△雑煮くうてよき
初夢を忘れけり▽もある。

だじやれで遊ぶ子規の句が見つかったと、本誌東京本社版で呼んだ。1897年に新年
会を開いて福引をし、景品に合わせて詠んだ句だという。△新年や昔より窮す猶(なお)窮す

▽
当たったのは急須のようで、「福引にキウスを得て発句に窮す」の詞書(ことばがき)も添
えられている。

前年に脊椎(せきつい)カリエスの手術を受けた子規だが、このときは小康状態だったよう
だ。弟子の高浜虚子や河東碧梧桐らを連れ、人力車で出かけた新年会である。病床の貧しい
生活すら笑いに包み込む。弟子たちを楽しませ、自分も楽しむ姿が浮かぶ。

東京・根岸の家を訪ねてくる人たちと、病床の子規は交流を続けた。郷里の後輩でもある
碧梧桐は、先客がいようが病人が寝ていようが、いつも自分の家のように上がりこん
だと書いている。それでも外で会食したのは「ホンの数えるほど」だったという。

△糸瓜(へちま)咲いて痰(たん)のつまりし仏かな▽。子規は、痰を切るため糸瓜水を愛用し
ていたようだ。自分を仏に見立てた三十四歳の絶筆である。

天声人語

問1 傍線部①②③④の漢字の読みを平仮名で記しなさい。

問2 二重傍線部ア「そんな」は何を指しているか。答えなさい。

問3 二重傍線部イ「パロディー」と同じ意味の語を本文から三字で抜き出しなさい。

問4 二重傍線部ウ「だじゃれ」とあるが、何と何のだじゃれか。答えなさい。

問5 二重傍線部エ「弟子たちを楽しませ、自分も楽しむ」とは具体的にはどういうことか。答えなさい。

【三】 次の各問に答えなさい。

問1 次の傍線のカタカナにあてはまる漢字をそれぞれのア～オから選び、記号で答えなさい。

1 文章のテイ裁を整える。

2 条約をテイ結する

3 辞書を改テイする

ア 締 イ 帝 ウ 訂 エ 体 オ 抵

4 先生のお話にケイ発される

5 昼休みに休ケイを取る

6 重いケイ罰が科された

ア 憩 イ 契 ウ 恵 エ 刑 オ 啓

7 弱音をハく

8 池の魚がハねた

9 教室をほうきでハく

ア 吐 イ 掃 ウ 跳 エ 張 オ 晴

問2 次の四字熟語の空欄にあてはまる漢字を書きなさい。

1 一 部 終

2 意味 長

3 天変 異

4 自 自足

5 奇 天外

6 三 四温

【四】 次の一～四の文の傍線部分を敬語を用いて言うとき、どのような言い方が適切か。最も適切なものを選び、記号で答えよ。

一 「訪問客が帰るとき」

外は寒いので、コートはここに着てください。

「 1 お召しになって 2 お召しになられて 3 着て参られて 」

二 「バスの共通カードの扱いについて」

一枚のカードで二人分お支払いの方は、カードを通す前に運転手に言ってください。

「 1 申して 2 申されて 3 おっしゃって 」

三 「講演会があった体育館の入り口に」

靴を脱いで入れたビニール袋は持ち帰らないでください。

「 1 お持ち帰りにならない 2 お持ち帰りにならない
3 どうぞ持ち帰らない 」

四 「掃除用品のテレビ宣伝で」

これ、こうして使ってもらうとたいへん便利で、らくにお部屋がきれいになります。

「 1 お使いしてもらおう 2 お使いになってもらう 3 お使いいただく 」